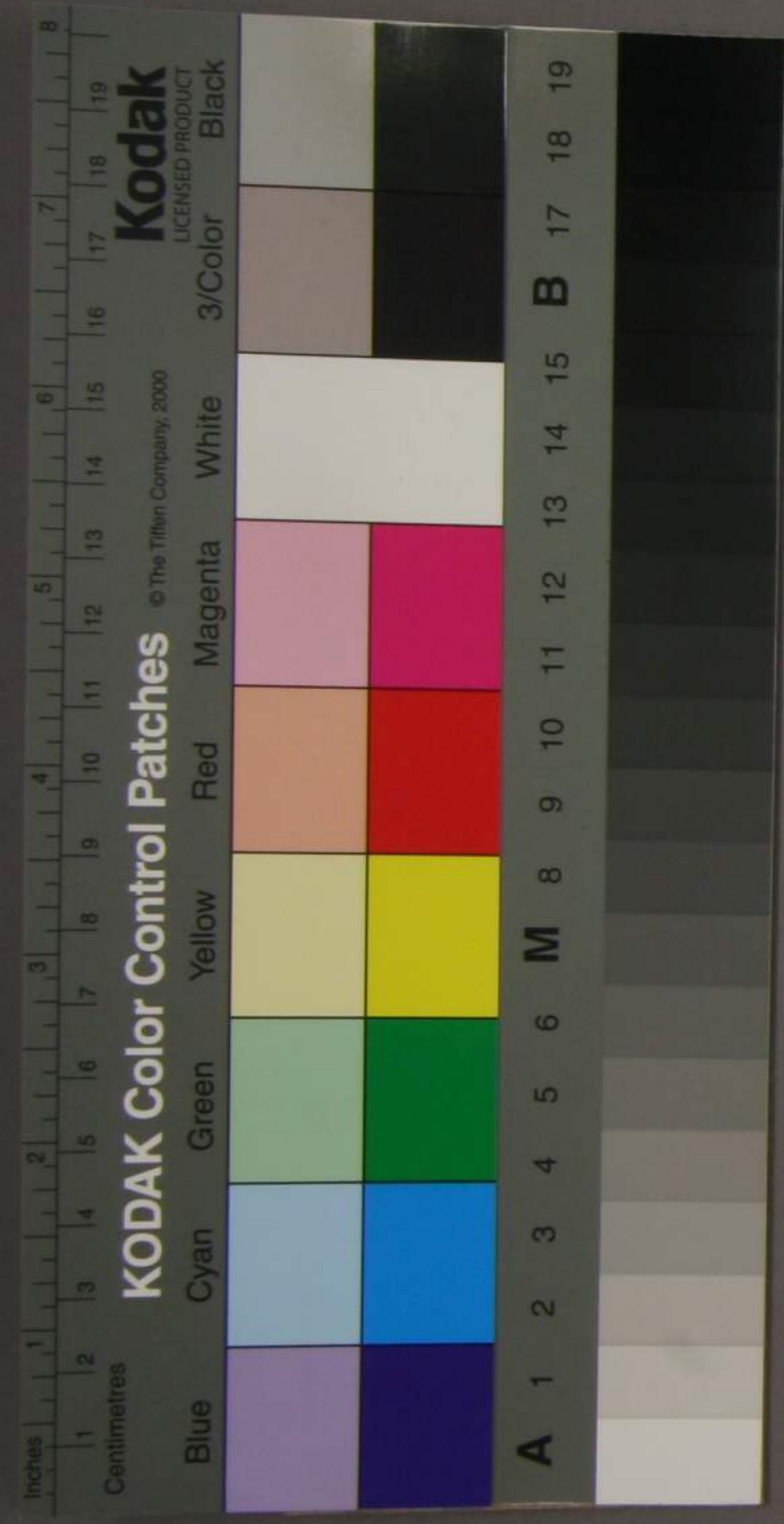




本邦ノ物産ハ清國へ販賣スルモノ多シト雖北海道ヨ
リ出ル所ノ者ヲ以テ大宗ト為ス昆布ノ如キハ魯西亜領
ヨリ産出スル所ノ者多カラサルニ非ス獨我國産出ス
ル者專ラ清人ノ嗜好スル所ニ係ル然ルニ通商貿易ノ
道未タ全ク開ケサルヲ以テ従前外國人ノ間接シテ其
利ヲ專ラニスル所トナレリ閣下夙ニ此ニ見ル所アリ
去ル明治五年許可ヲ經用達商會ヲ鼓舞シテ上海ニ出
店セシメ開通洋行ト稱シ當使管下稅納ノ產物及ヒ一
般人民ノ輸送スル物品ヲ賣捌キ荷為替ノ方法等ヲ設
ケ且運漕保任ノ兩社ヲ創立シ定日ノ以テ郵船ヲ函館
東京大坂ノ間ニ往反セシメ特ニ北海丸（全淺間ト号ス
ル軍艦是ナリ）
ニ附與スルニ準備金拾万圓ヲ以テシ保險ノ方法ヲ實



414
A 1054

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



施セシノ猶社中積金ノ増殖ヲ期シテ上海等ノ線路ハ
推廣セントスルノ際不幸ニシテ佐賀ノ軌道臺ノ役ニ
會シ北海号ハ海軍省ニ需用セラレ準備金モ亦緊急ノ
費途ニ充テサルヲ得サルカ為メ終ニ保任社解散ニ及
ビシト實ニ慨歎ニ堪ヘサリナリ爾後上海開通洋行
ノ商業モ亦萎靡シテ振ハス其得ル所失フ所ヲ償フ能
ハサルニ至ル故ニ又我國他ノ商賈モ奮テ同地ヘ產物
ヲ直輸スル等ノ舉アルナシ於是特ニ下官ヲ清國ヘ差
遣セラレ尙實際ノ形情ヲ視察シ其施法ヲ講究シ彼我
貿易ノ巨益ヲ圖ラシム其輦下ヲ發スルニ臨ミ閣下ニ
請フテ用達ノ内最該事業ニ注意スル笠野熊吉ヲ隨行
セシメ上海天津ヲ始メ各地ニ在テ親ク其情態ヲ熟察
シ或ハ官吏ニ就テ之ヲ質問シ尙駐劄上海品川總領事

ト協議セシ所ヲモ參酌シ措置スル所ノ意見ヲ條陳シ
テ以テ自今兩國貿易ノ隆盛ニ至ランコトヲ企望ス且ツ
豫テ內務大藏兩卿ヨリ下官ヘ垂諭スル所ノモノアレ
ハ條中其兩省ヘ關係スル者ハ宜ク照會アラントヲ請
フ

一 上海ハ西細亞洲中ノ要衝ニシテ歐米各國船載ス
ル所ノ萬貨概子此港ニ由ラサルハナシ且ツ我長崎ヲ
距ルモ亦遠カラス故ニ清國ト通商貿易ヲ隆盛ナラシ
メント欲セハ先此港ニ據ラサルヘカラス故ニ本店ヲ
此ニ設ケテ開通洋行ヲ充ツ專ラ通商ノ便利ヲ占メ傍
ラ貨幣交換荷為替等ノ事ヲモ兼掌セシメ天津漢口ノ
二港ヘ支店ヲ置キニ港共當分ハ支店ヲ置カ本店ヨリ
派出シテ以テ販賣ノ事ヲナサシムヘシ而テ上海及前

二港ニ於テ清商ノ資本充實ニシテ其信用アル者ヲ擇
ミ預メ約ヲ結ビ誼ヲ通シ互ニ商法收授ノ圖ヲナサシ
ムルヲ要ス上海本店ニ充ツヘキ家屋倉庫等港内佛蘭
西街英商太菜号所有ノ地所及建家等<sup>現ニ今ノ開通洋
行ハ此構内ニ於
ル其一部ヲ借用ス</sup>舉テ賣却セントスルモ入アリ之ヲ
購求シテ修繕ヲ加ヘ之ヲ本店及交換所ニ充ルノ外公
私用ノ旅館ニ供シ尚餘ル所ノ者ハ他ヘ貸付シテ以テ
自他ノ便益ヲ謀ルヘシ其地坪及建家ノ棟數代價等ハ
略圖ヲ添タル別記ニ詳ナリ

一 上海本店用ノ地所建物等購求スヘキ代金五萬圓
餘ハ當使貸附金ヲ以テ零辨セラレ貨幣交換荷為替其
他ノ資本金ニ當四拾萬圓大藏省ヨリ貸與ノ名義ヲ以
テ下付セラレシムヲ要ス

一 北海道其他ノ物産販賣及彼地ニ於テ機宜ヲ占メテ買
入ル、所ノ物品賣却或ハ荷為替等取扱ノ為メ更ニ長崎、
モ支店ヲ置函館東京大坂ト同ク倉庫等ヲ建設セシムヘシ
但各支店資本金ハ上條四拾萬圓ノ内ヲ相當ニ配付
シテ備フヘキモノトス

一 上海港内浦東ニ在ル所ノ海軍省用地及倉庫ハ豫
メ同所在勤町田大主計ヘ照會ヲ經タレハ彼地ヘ輸送
スル所ノ石炭木材ノ圍場トナス可シ

但木材圍場等ヲ構造スル為メ經費ハ現地精査ノ
上更ニ開申セシムヘク且海軍省ヘハ相當ノ借地
料ヲ開通洋行ヨリ納ムヘキモノトス

一 現今ノ情形ヲ案スルニ該事業ハ悉ク官カニ出サレ
バ得テ耐ユ可ラサルヲ以テ清國派出ノ社員ニ限り給料及諸

般ノ費用ヲ給シ税納ノ產物及札幌工業局諸製作物等ノ販賣ハ手數料ヲ與ヘス該社ノ買入ニ係ル物品ヲ販賣スル節其彼地ニ於テ機宜ヲ占メ買入タル貨物ヲ内國等ニテ賣却スルノ分ハ諸費精算全ク其益金高ノ半高ヲ該社ヘ付與シ内國各店ノ諸費ヲ支辨セシムヘシ

但大藏省ノ特令ヲ以テ販賣セシムルノ物品及勸業寮等ノ製物ヲ販賣スル等ハ代價ノ五分ヲ手數料トシテ下付セラルヘシ
一 上條ノ趣ニヨリ貨幣交換所役員ノ給料及諸費ハ大藏省ヨリ支給セラルヘシ且開通洋行ノ商業ト交換所ノ事務トハ一構内ト雖其店ヲ異ニシ各規則ヲ遵守セシメ聊モ混同ノ弊アラシムヘカラス

一 各本支店ノ支配人其他能ク其人ヲ得ルヲ緊要トス且交換所ノ條例等ハ自ラ大藏省ニテ定メラルヘク

其開通洋行ノ規則等ハ此ニ條陳スル所ノモノ裁決セラル、ノ上更ニ起案シテ閣下ノ決ヲ取ル所アルヘシ

一 在清各店ハ諸費給料等官給スルヲ以テ取締向渾テ上海領事署ノ指揮ニ委シ其出納ノ如キハ毎翌月十日迄ニ前月分ノ計算表ヲ以テ總領事ノ檢閱ニ供シ又商法上其機ノ良否ヲ取舍スル等大ニ其損益ニ係ルモノハ時々領事ノ意見ヲ以テ決スルモノトナヘシ

但上海領事署官吏定員ノ外該事業ヲ擔當スル為メ十二三等ノ内ニテ一員ヲ増シ其月給ハ當使ヨリ支給スルモノトス且天津ニ於テハ同所領事署ノ指揮ヲ受ル丁本條ニ准スヘシト雖別ニ官費ヲ増スニ及ハス

一 上海居留地ノ遊園タルヤ壯大ナラス又清人ノ植

物店モ稀少ニシテ其種類モ亦多カラス仍テ内山長太郎ニ命シテ同所幽僻ノ地ニ於テ一區購九一十坪ノ地ヲ開闢シテ地ナラサルヲ花園ヲ設ケ我國及歐米ノ花木ヲ栽培シテ在留各國人ノ需ニ應ニ且ツ我國ト外國ト其花木ヲ交換スルノ所トナシ園中ニ日本風ノ西落タル休憩所ヲ建設シテ洋酒等ヲ備ヘシメ我國ノ花卉菓樹等外人ノ望ニ適スルモノハ當使試験場ニテ盛ニ培養シテ之ヲ輸出セハ其所益必ス期ス可シトス此經費ハ一時無利息ニシテ官金ヲ貸與セラレ三年後ヨリ相當ノ年賦ヲ以還納セシムヘシ

但此園開通洋行支配人上海へ帰航セルヲ以内山ノ代人ヲ同行セシメ品川総領事ノ指揮ヲ受ケテ地所并經費概算等ヲ調査セシメラルヘシ

一 彼國へ従前輸送スル物産ノ外更ニ北海道ノ木材石炭塩魚乾魚鹿火腿鹿筋卓椅子類等ノ製作物ハ風帆船ヲ以テ漸次運送販賣スヘシ且昆布其他税納ノ現品同國へ輸出スルモノハ北海道或ハ内國他ノ港ニテ賣却スルヲナサス必開通洋行へ委シテ販賣セシムヘシ

但木材石炭等輸出ノ事ハ彼地ニテ調査セシ別記ヲ付呈ス

一 風帆船ヲ増加スルハ當使ノ決議スルモノアリト雖前条大藏省ヨリ貸與セラル、四拾萬圓ノ内ニテ五百噸内外ノ風帆船三隻ヲ別ニ該社ニ於テ購入シ其部分タル運漕社ニテ運轉セシムヘシ
右條陳スル所ノモノ閣下之ヲ採擇シ其貨幣交換所設

立及資本金貸與ノ件ハ宜ク大藏卿へ照會セラレ希ク
ハ下官鄙見ノ如ク施行アラント是レ禱ル謹具

明治九年四月

開拓中判官西村貞陽

開拓長官黒田清隆殿

別ニ上海居留地及同港内海軍省屬地
ノ圖アリ

上海佛蘭西街貳拾九番地

英人太萊洋行所有地

總地坪六百七拾六坪

内

一煉瓦造貳階附建家

表棟但表口六間
裏行三間
建坪百八拾坪

此分客歲三月焼失四壁ノミ存ス

一同

表棟但表口四間
裏行三間
建坪百八拾坪

一庫

表上所有但表口六間
裏行拾間
建坪百四拾坪

亭之所
祖表口貳間
與行於四間
此建坪貳於八坪

合代金三万五千テール
此洋銀四万八千弗

外
家屋一切修繕入費
九洋銀壹千弗

右地所建家倉庫廐分代價兼入修費
書載之通御座候也

明治八年三月

開通洋行
下田喜次郎

表間口給三

度

庭

榮

八間
板
橫
梁

此
門
係
所
建
武
成
年
間
之
物

八間
橫
梁
板

1. $\frac{1}{2}$
 2. $\frac{1}{2}$

三

煉瓦造建家吉棟
此建坪百貳拾坪

尾數幅貳間

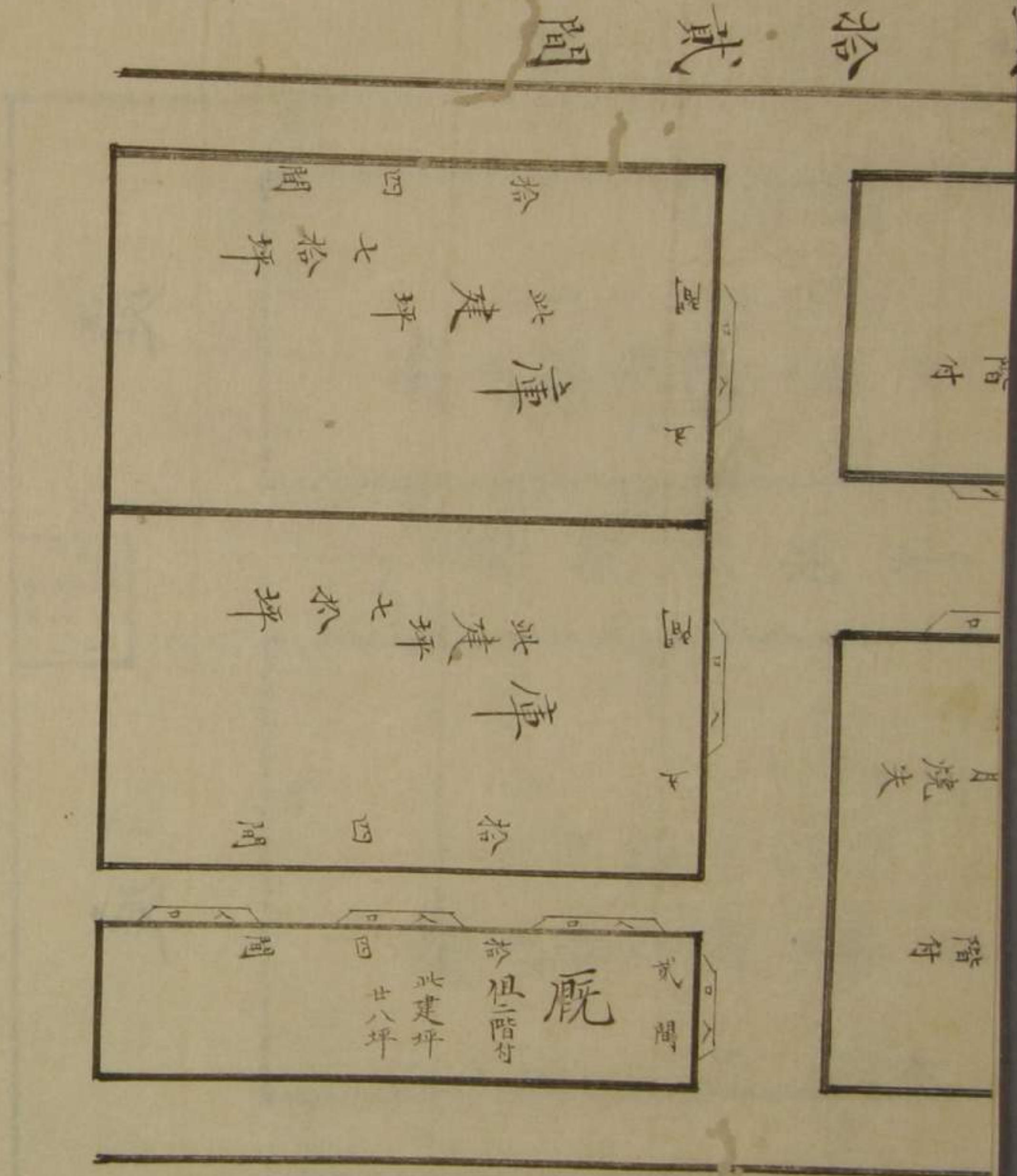
煉瓦造建築家吉棟

佛蘭西街貳拾九番地 英人太

與行

7

來洋行待地 總地坪六百七拾六坪



記

上海佛蘭西街貳拾九番地
英人來洋行所有地
總坪六百七拾六坪

一煉瓦造貳階付建家

表棟

表間六間
興行三拾間
此建坪百八拾坪

右之內

建坪六拾坪

開通洋行所用之係

殘建坪百貳拾坪

但四水坪之仕切旅館其外各國商人望ノ者へ貸渡

此家賃止月元洋銀百八拾弗

一同

吉棟

表間口四間
奥行三水間

此建坪百貳拾坪

此家賃止月元洋銀百六拾弗

現ニ英人借家ナル
零ニ付ル

一洋銀三百三拾弗

此止々年洋銀三千九百六拾弗

内

洋銀四百弗

建家藏馬屋代價元見積
洋銀四百弗 出火災原料
止々年分

洋銀三拾六弗

開通洋行商店美藏馬家
貳百貳拾八坪地稅止々月
洋銀三弗 宛

一洋銀四百三拾六弗

差引洋銀三千五百貳拾四弗

所益

此一年所益ヲ以該地却買上代美修繕料中
逐次辨償ノ積

外

建坪貳百貳拾坪

地稅借主より差出し

候事

吉々年九洋銀四拾弗佛蘭西二部

局、細山

右之通見込奉申上候也

開通洋行

下田喜次郎

明治八年三月